

## 野幌中学校 学校評価全体計画

### 1. 目的

- 1) 本校の重点教育目標具現化の取組や重点指導内容、教育活動等について、組織的・計画的に改善を図る。
- 2) 学校評価の実施、結果公表・共有による家庭や地域との連携協力を図った学校づくりを進める。

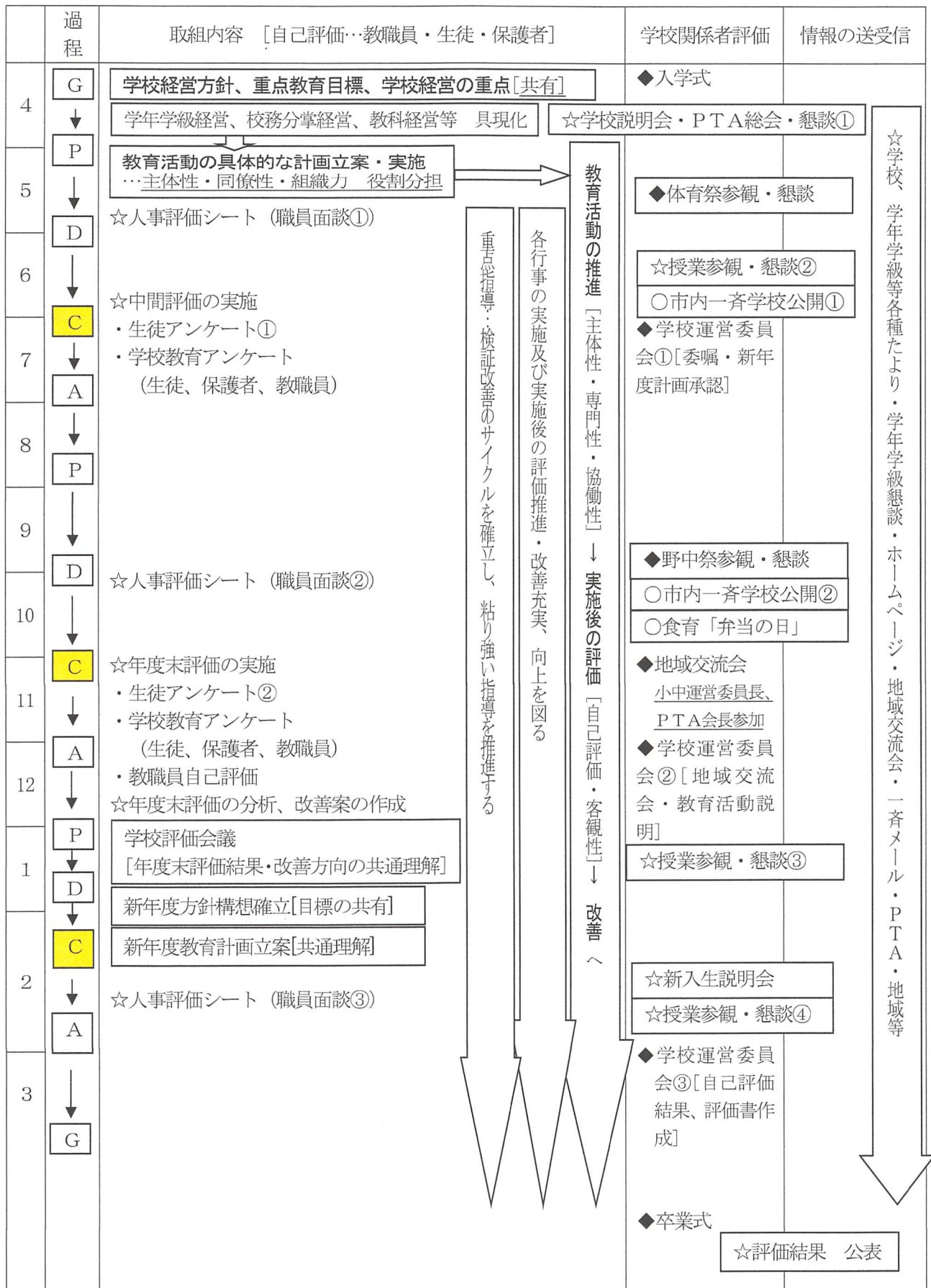
### 2. 基本的な考え方

- 1) 学校改善につなげる。(G-PDCAサイクルの確立・定着)
- 2) 成果と課題を明らかにし、改善の方向性や方策の共通理解を図る。(協働促進)
- 3) 客観的な評価を行う。(数値化)
- 4) 説明責任・結果責任を果たす。(計画・実行・検証・改善更新)

### 3. 評価内容、評価方法

	名称・評価者	評価内容	時期	担当
自 己 評 価	学校教育アンケート (生徒) (保護者) (教職員)	生徒、保護者、教職員の3者で、質問項目を揃えて実施する。3者の意識の相違、意識の変遷を見取り、学校改善に役立てる。 結果については、7月、12月の学校だよりで公表する。	7月、12月	教頭 校長 各学年
	行事 (教職員、必要に応じて生徒)	全校にかかわる行事や旅行的行事等について、実施後1週間をめどに回収し、次回職員会議に集約と改善点・方向性を提示する。	行事ごと	各分掌 各学年 担当
	いじめ実態等、生徒指導関連実態調査(生徒)	「いじめ」や「インターネットトラブル」等の実態把握に努め、問題行動等の未然防止、早期解消、再発防止に努める。	いじめ: 6、10月 適宜	指導 各学年
	標準学力検査(NRT)や 全国学力・学習状況調査、 全国体力・運動能力運動習慣等調査、英検I B A等	客観的データを基に定着度や課題等の分析を行い、改善の方向性を示す。	6月、9月 11月	研究 各学年 各教科
	学校職員人事評価シート (教職員)	学習指導や生徒指導、いじめの対応、保健指導、校務分掌、学校事務等に関する個々の目標や方策、実現状況や課題を自己評価し、改善方策を検討する。	5月、10月、 2月	校長 教頭
	教職員自己評価 (教職員)	重点教育目標や学校運営・教育活動全般にわたって総括的に検証し、改善の方向性を示す。	11月(年末 評価)	教頭
	生徒アンケート(生徒)	生徒の生活実態の把握、授業における意識の把握を目的として実施する。実態把握をもとに、授業改善等に役立てる。項目等については研究部で検討し、年2回実施する。集計については研究部で行うが、記述の部分については、教頭が行う。	6月、11月	研究部 教頭
外部 評価	学校運営委員会 (学校関係者評価)	目標の達成状況や取組状況、適切さなどについて評価してもらい、その結果から教育活動の改善点を探る。	2月	教頭 教育課程 検討委員会

4. 年間の評価活動の流れ (目標→計画→実践→検証→改善)



☆学校経営について情報発信・受信  
○市内一斉行事 ◆学校運営委員会

令和 5 年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 6 年 3 月 1 日

江別市立野幌中学校

1 本年度の重点目標

命輝かせる野幌中学校～協働して、学び、励み、高め合う

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
経営方針の重点	学校の実態を踏まえ、教職員一人一人を活かした効率的な組織運営と協働体制が図られている。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校教育アンケート（生徒・保護者・教職員）、人事評価シート、生徒アンケート、学校評価、いじめアンケート等の結果を踏まえた改善による学校運営を推進する。</li> <li>○学年や分掌組織を機能させ、各種アンケートや調査結果を分析し、生徒の実態に応じて対応を検討し改善を図る。</li> <li>○毎月校内運営委員会を実施し、分掌間の連携を図る。</li> <li>○より一層、グランドデザインの作成に全職員の参画を促し、協働体制の構築を図る。</li> </ul>	A	A
	校内外の研修を通して、一人一人の教職公務員としての資質向上（指導力の向上）が図られている。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究部を中心とした組織的研究</li> <li>○Q U（楽しい学校生活を送るためのアンケート）の結果の見取りについて職員研修会を実施する。</li> <li>○不登校生徒や配慮が必要な生徒等の今日的な課題を理解するための職員研修会を実施する。</li> <li>○各種調査分析結果を授業改革に生かす。</li> <li>○授業の相互参観、一人一実践の取組。</li> <li>○学習評価の在り方についての研修。</li> </ul>	A	A
	積極的な情報発信を通して、保護者、地域との信頼関係の構築が図られている。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○HP、メール配信、学校便り、学年便り、学級便り等を通じた積極的な情報発信に努める。</li> <li>○PTA 地域交流会による、地域、保護者、学校運営委員などと意見交流を行う。</li> </ul>	A	A

教育課程・学習指導	学校の実情を踏まえ、創意ある教育課程が編成され、授業時数の確保が適切になされている。	A	○各学年ともに余時数の確保に努める。 ○教育活動全般において検証改善サイクルを機能させ、カリキュラムマネジメントを行う。	A	A
	T T、習熟度別学習、I C T（情報通信技術）の活用など、わかる授業を目指した指導方法の工夫が図られている。	A	○数学の少人数学習、T T指導による授業改善の取組。 ○I C T機器を積極的に活用した個別最適な学びの実現。 ○仮想端末移行に伴う、教員のスキルアップの励行。	A	A
	各学年で、家庭学習の習慣化を目指すなど、学力の向上が図られている。	B	○家庭学習の習慣作りに向け授業展開の工夫、計画表の作成、保護者への啓発の実施。	B	A
生徒指導	服装、頭髪、時間を守るなどの基本的な生活習慣の定着が図られている。	A	○時間の見通しを持たせるためのノーチャイムの実施。 ○学校スローガン「野中プライド」を意識した生活を実践させ、野幌中の伝統へと繋ぐ。	A	A
	思いやりの心、好ましい人間関係を構築するため、元気に声を出して挨拶を教師と生徒間で励行している。  相手の立場を尊重し、いじめはどんなことがあっても許されないと考える生徒への指導が適切に行われている。	A	○生徒の実態に合わせた道徳教育の推進。 ○挨拶運動の強化。 ○相談活動の充実に向け、教育相談週間等を設定した実践の推進。 ○日常的な生徒理解に向け、教師と生徒間のコミュニケーションの充実。  ○いじめ早期発見と組織的な対応。 ○いじめ防止対策委員会を開催し、速やかな確認・報告・指導の徹底。 ○いじめはどんなことがあっても許されないと考える生徒の割合 100%を目指す。	A	A
小中一貫教育	小中一貫教育に向け、校区内での小中合同 CS 会議や、P T A 地域交流会の開催、部活動の地域イベント参加など、地域との交流を図っている。	A	○合同 CS 会議の定例化。 ○地域交流会の継続。 ○吹奏楽部による地域（蔦屋書店等）への演奏活動や、校区内の小学校での演奏。	A	A
	校区内の小学校と密に連絡を取り、義務教育 9 年間の連続した教育課程と捉え、教育活動の改善と推進を行っている。	B	○中学校での合唱交流会への小学校の参加。 ○入学説明会時の中学校体験授業の参加。 ○定期的な若葉小・東野幌小・野幌小と野幌中の 4 校による児童生徒（不登校・支援が必要・ネットトラブルなど）の引継ぎや交流会の実施。	A	A

【評価項目の設定、達成状況及び改善の方策に関する学校関係者評価委員の意見】

- ・無理のない評価項目の設定であり、改善の方策も適切だと思います。
- ・家庭学習の習慣化は、子ども一人一人の状況や、やる気など違うと思うので、なかなか難しいと思います。
- ・学校便りを毎月送っていただいたり、ホームページに載せていただいたりしているので、毎月とても楽しみにしています。
- ・学校の状況がよくわかります。
- ・部活動への体験会や、中学校の体験授業は本当に有意義だと思います。
- ・不登校生徒や配慮の必要な生徒への職員研修なども、有意義なことだと思います。
- ・学校側の自己評価Bの項目に関しては、しっかりと達成していると考えています。改善の方策もすでに取り組んでいると思いますので、さらにレベルアップのための方策かと思いますが、無理のないようお願いしたいと思います。
- ・先生方には分野別目標の評価項目に沿った学校運営を着実に行っていただいております。本年度から小中一貫教育にも本格的に推進いただくなど、改善されており、委員としましては深く感謝申し上げます。特に、児童生徒のみならず、地域に開かれた学校運営を継続していただいていることは、先生方の努力が功を成している特筆すべき項目と評価しております。今後とも地域の一員として、協働し微力ながら生徒や先生方の一助となるように応援させていただきたいと存じます。

【評点】 A：よい B：おおむねよい C：ややよくない D：よくない

# R5 7月 学校教育アンケートへの御協力、ありがとうございました

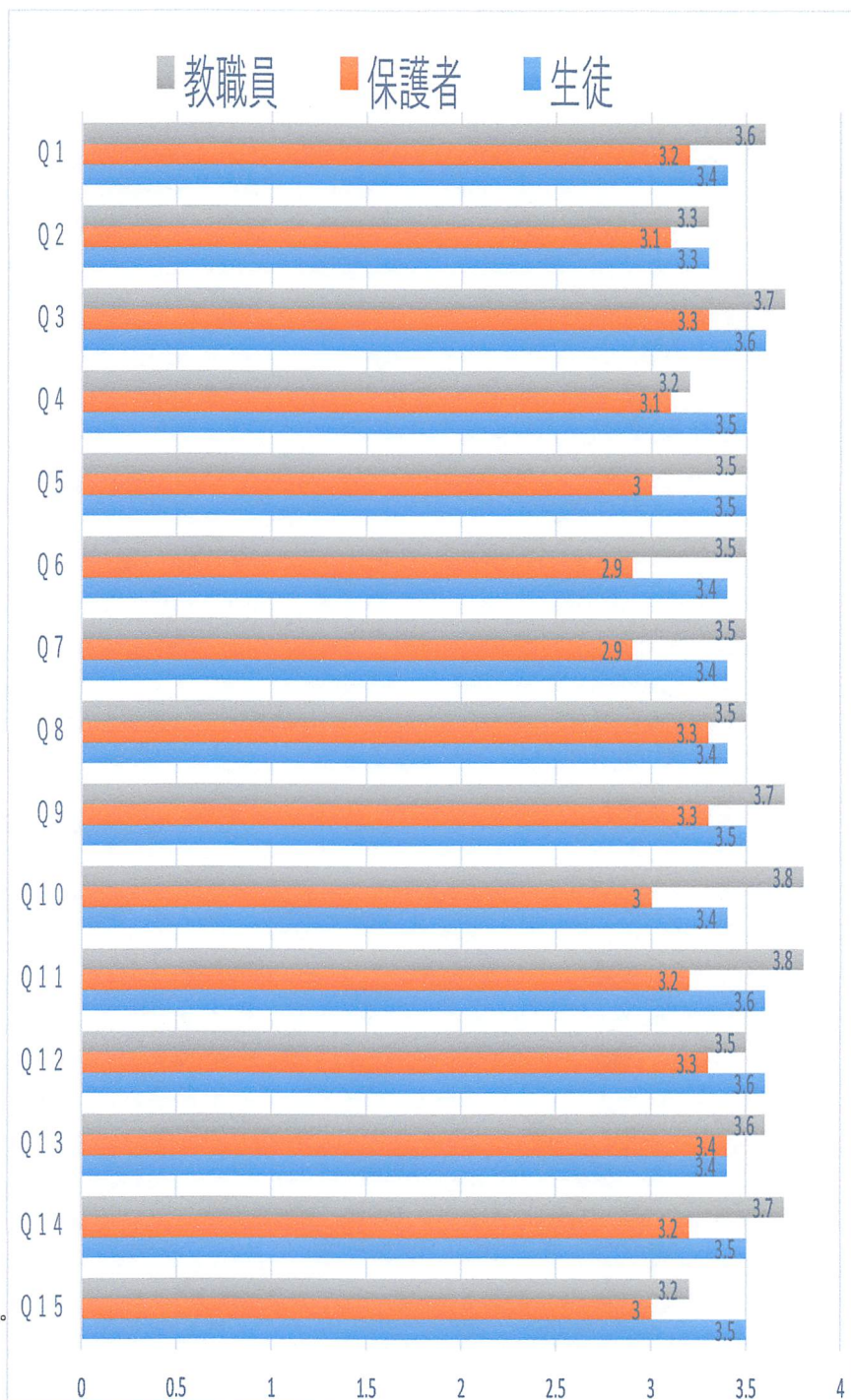
学校教育アンケートへの御協力、ありがとうございました。回答率は86.9%でした。昨年に引き続き、Googleフォームを活用して実施しました。次回12月もGoogleフォームでアンケートを実施いたしますので、よろしくお願いいたします。

回答については、様々な御意見、御指摘、御要望をいただきました。本当にありがとうございます。しっかりと検討・対策を行い、今後の学校運営に生かしてまいります。

※回答いただいた評価を、A=4 B=3 C=2 D=1として平均値を算出しています。(最大値4)

## 【質問項目】

- Q1 重点目標達成に向けて努力している。
- Q2 保護者・地域から「愛される学校」になっている。
- Q3 情報発信を十分行い、様子を伝えている。
- Q4 保護者と教職員の間信頼関係・協力関係ができています。
- Q5 分かりやすい授業になるための工夫・改善を行っている。
- Q6 自主学習や家庭学習など、学習習慣が身に付くように指導している。
- Q7 自分の将来について考えられるような学習活動や進路指導を行っている。
- Q8 学校の雰囲気が良く、子どもは楽しく学校生活を送っている。
- Q9 決まり・マナーを身につけ、場に応じた言動ができるように指導している。
- Q10 生徒の悩みの解決に努め、いじめ対策を行っている。
- Q11 生徒の健康安全を大切にしている指導を行っている。
- Q12 自主的に、きちんとした学校生活を送れるよう指導している。
- Q13 子どもたちが行事に進んで取り組むように指導している。
- Q14 校内外の環境美化に取り組んでいる。
- Q15 施設・設備は教育環境として十分整っている。



## 【保護者アンケートから】

学級担任の子どもたちへの関わり方や、ホームページやtetoruでの情報発信等について温かい御意見や、授業に関して、また部活動についての御指摘もいただきました。ありがとうございます。新型コロナも5類に移行になり、徐々に以前の学校生活に戻りつつあります。しかし、学校環境はめまぐるしく変わってきています。学校として、しっかりと時代の流れをつかみ、子どもたちのために真摯に対応していきます。

## 【生徒アンケートから】

夏場の教室の暑さについての意見が多数を占めました。各教室にはサーキュレーター、扇風機がついていますが、なかなか涼しくならないのが現状です。申し訳ありませんが、継続して、水分補給や着衣での体温調節で乗り切っていくしかない状況です。他にも、授業のこと、部活動のこと、学校生活全般について意見をいただきました。今後はより一層、子どもたちに寄り添い、みんなが笑顔で楽しく学校生活を送れるよう、取り組んでまいります。

## 第2回学校教育アンケートへの御協力、ありがとうございました！

7月に引き続き、12月の学校教育アンケートへの御協力に感謝いたします。回答率は76.2%で、7月の回答率を下回りました（前回86.9%）。前同様、Googleフォームを活用して実施しましたが、次年度以降も同様に実施させていただきます。今後も、多くの保護者の皆様に御回答をお願いしたいと思います。御回答いただいた皆様、御協力ありがとうございました。

さて、本日で後期前半（第3節）が終了します。令和5年4月に新年度がスタートして8ヶ月が経過し、体育祭や学校祭など、各学年様々な取り組みが行われました。保護者の皆様、生徒の皆さんからは、様々な御意見、御指摘、御要望をいただきました。ありがとうございました。中には心温まる記述もあり、今後の励みになりました。

紙面の都合上、全てを取り上げることはできませんが、いただいた御意見を元に、今後の学校運営に生かしてまいります。

### 【教室環境】への御意見・御要望

#### ■今年の猛暑により、学校にエアコンの設置を強く要望される御意見が多数ありました。

残念ながら、学校単独の判断でエアコンの設置ができません。今のところ、江別市は全小中学校の保健室にエアコンを設置する方向で動いているようです。

夏休みの延長についても、色々と報道されていますが、学校としては、来年の夏に向けて、子どもたちの健康状態、そして『命』を第一に考え、少しでも快適に、涼しく、安全に学校生活を送れるよう、検討中です。保護者の皆様の御理解をお願いいたします。



### 【部活動】への御意見・御要望

#### ■部活動の設置数に対する御意見がありました。

野幌中学校では数年前に、専門の指導者がいない、希望生徒が少ないなどの理由により、いくつかの部活動が廃部になったと聞いています。御意見にもありましたが、部活動は子ども達の心身の成長、仲間作りなど、非常に良い影響を与える、学力と共に欠かせないものであると考えています。

ただ、江別市においても検討委員会が設置された『部活動の地域移行』の問題、指導する『専門教員（指導者）の確保』の問題、生徒を安全に支えるための『複数の顧問の確保』の問題等、様々な課題がございますので、なかなか簡単に設置できない状況にあることを御理解いただきますよう、お願い申し上げます。



### 【生活のきまり】への御意見・御要望

#### ■冬の寒さへの対応（長袖シャツ）に対する御意見がありました。

（先日、「生活指導だより」を配布させていただきましたので、そちらもご確認下さい）

校内が寒い場合は、防寒対策として「ヒートテック」などの長袖のシャツの着用は認めております。ただ、長袖のシャツ等が、ジャージまたはYシャツの襟や袖などからはみ出るような着用は認めておりません。

なお、体育の授業の場合は、ジャージの上着の中は指定Tシャツとなりますので、長袖シャツを着用している場合は、事前に更衣室で着脱をすることになります。よろしくお願いいたします。



### 【生活のきまり】への御意見・御要望

#### ■冬靴のサイズについて御意見がありました。

（先日、「生活指導だより」を配布させていただきましたので、そちらもご確認下さい）

新入生説明会でもお伝えしてありましたが、野幌中学校の下駄箱のサイズが大きくないために、大変ご迷惑をおかけしております。

ただ、野幌中学校の靴箱の数も限られており、靴箱の大きさ以上の防寒ブーツになりますと、そのままでは入れることができず、上部をたたんで入れるしかありません。たたんで入れることができるのであれば、特に問題はありませんが、靴が傷んでしまう可能性もあります。

どうか御理解いただき、靴箱に入れることができるような防寒ブーツ等をご用意いただけますよう、よろしくお願いいたします。

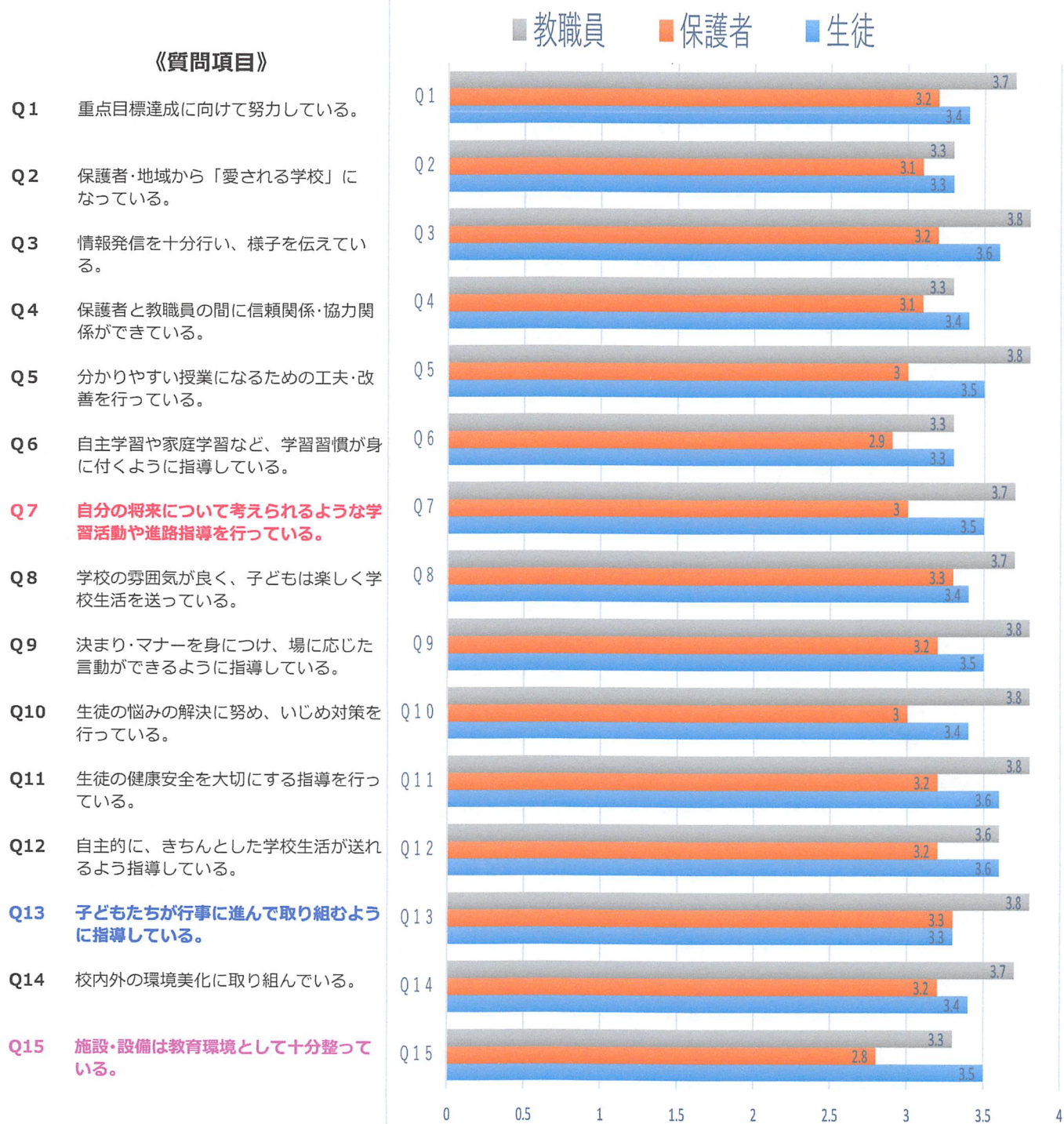


★他には、学校から各家庭へ出す文書の内容や、tetoruの活用、ホームページ、学校祭、自転車の公道での乗り方について等々、記述をしていただきました。ありがとうございました。

☆次年度に向けて、いただいた御意見、御指摘、御要望を元に真摯に取り組んでまいります。

※回答いただいた評価を、A = 4 B = 3 C = 2 D = 1として平均値を算出しています。(最大値4)

## 【第2回学校教育アンケート結果】



### 【7月アンケートと12月アンケートの比較】

- ◎ 生徒アンケート で7月よりポイントがアップ↑した項目 【Q7】
- 生徒アンケート で7月よりポイントがダウン↓した項目 【Q4・Q6・Q13・Q14】
- ◎ 保護者アンケートで7月よりポイントがアップ↑した項目 【Q7】
- 保護者アンケートで7月よりポイントがダウン↓した項目 【Q3・Q9・Q12・Q13・Q15】
- ☆生徒・保護者共通して、【Q7 学習活動や進路指導】については前回よりポイントが上がっています。
- ☆生徒・保護者共通して、【Q13 行事に進んで取り組む】は下がりました。
- ☆保護者アンケートで、【Q15 施設・設備などの教育環境】が平均2.8ポイントと一番低い結果となりました。

\* 生徒・保護者・教職員の評価が、概ね同様になることが大切だと思います。教職員と生徒・保護者の評価で、差がついている項目に関しては、学校側として真摯に受け止め、解決に向けて検討してまいります。御協力ありがとうございました。